

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-065439

(43)Date of publication of application : 06.03.1990

(51)Int.Cl.

H04L 12/18

H04M 11/00

H04N 1/00

H04N 1/32

(21)Application number : 63-217245

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 31.08.1988

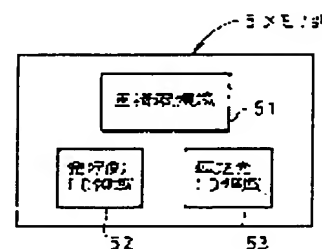
(72)Inventor : KINOSHITA HARUKI

## (54) PICTURE INFORMATION TRANSFER SYSTEM FOR FACSIMILE EQUIPMENT

## (57)Abstract:

PURPOSE: To transfer sent picture information automatically to a predetermined destination by storing picture information from a caller side once when a subscriber number of the caller side and a prescribed subscriber number are coincident at the arrival of a signal and transferring the picture information to a destination.

CONSTITUTION: A memory section 5 has a picture information 51, a caller side ID area 52 and a destination ID area 53 as shown in figure and the prescribed subscriber number and the destination subscriber number are stored respectively in the caller ID area 52 and the destination ID area 53. In the arrival of a call from other communication terminal equipment, when the other communication terminal equipment, that is, the caller subscriber number and the prescribed subscriber number stored in advance in the memory section 6 are coincident, the picture information from other communication terminal equipment is stored once in the memory section 5 and then the subscriber number of the destination is read from the memory section 5 and sent and the picture information stored already in the memory section 5 is sent to the destination communication terminal equipment. Thus, the picture information sent from the desired communication terminal equipment is transferred automatically to the predetermined communication terminal equipment.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平2-65439

⑬ Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)3月6日

H 04 L 12/18  
H 04 M 11/00  
H 04 N 1/00  
1/32

3 0 3  
1 0 4 Z  
Z

8020-5K  
7334-5C  
6940-5C  
7830-5K

H 04 L 11/18

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 ファクシミリ装置の画情報転送方式

⑯ 特 願 昭63-217245

⑰ 出 願 昭63(1988)8月31日

⑱ 発 明 者 木 下 晴 喜 東京都日野市旭が丘3丁目1番地の1 株式会社東芝日野工場内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

⑳ 代 理 人 弁 理 士 木 村 高 久 /

# 明 細 書

## 1. 発明の名称

ファクシミリ装置の画情報転送方式

## 2. 特許請求の範囲

統合デジタルサービス網に接続されたファクシミリ装置において、

所定の加入者番号に対応して転送先の加入者番号を予め記憶する加入者番号記憶手段と、

着信時に発呼側の加入者番号を検出する検出手段と、

この検出手段によって検出された加入者番号と、前記加入者番号記憶手段に記憶されている所定の加入者番号とが一致するか否かを判定する照合手段と、

この照合手段によって前記両者の加入者番号が一致すると判定された場合は、発呼側からの画情報を記憶する画情報記憶手段と、

前記加入者番号記憶手段に記憶されている所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号を発

信して、前記画情報記憶手段に記憶されている画情報を送信する転送制御手段と

を備えたことを特徴とするファクシミリ装置の画情報転送方式。

## 3. 発明の詳細な説明

(発明の目的)

(産業上の利用分野)

本発明は統合デジタルサービス網に接続されたファクシミリ装置の画情報転送方式に関する。

(従来の技術)

今日、通信網の代表的な存在として公衆電話網が知られている。一方、ファクシミリ装置が広く普及するに伴い、サービス性の向上が望まれている。

ここで、公衆電話網に接続されたファクシミリ装置においては、着信に際して公衆電話網から呼出しを受けるだけで、公衆電話網から発呼側の加入者番号を通知されることはない、したがって、このファクシミリ装置は着信時に発呼側がいずれの通信端末であるかを知ることができず、このた

め所望の通信端末から伝送されてきた面情報を与め定められた転送先の通信端末に自動的に転送するようなことを望めなかった。

(発明が解決しようとする課題)

このように従来のファクシミリ装置では公衆電話網に接続されている限り、所望の通信端末から伝送されてきた面情報を予め定められた転送先の通信端末に自動的に転送するようなサービスを行うことができなかった。

ところが、近年、統合デジタルサービス網(以下ISDNと称す)が普及しつつある。このISDNは音声情報、面情報等を伝送するためのBチャネルと、制御情報を伝送するためのDチャネルとを有しており、制御情報として例えば発呼側の加入者番号を被呼側に伝送することができる。したがって、被呼側は伝送されてきた発呼側の加入者番号に基づいて発呼側がいずれの通信端末であるかを知ることができる。

そこで、本発明はISDNに接続されたファクシミリ装置において所望の通信端末から伝送され

てきた面情報を予め定められた転送先の通信端末に自動的に転送することが可能なファクシミリ装置の面情報転送方式を提供することを目的とする。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段)

本発明は統合デジタルサービス網に接続されたファクシミリ装置において、所定の加入者番号に対応して転送先の加入者番号を予め記憶する加入者番号記憶手段と、着信時に発呼側の加入者番号を検出する検出手段と、この検出手段によって検出された加入者番号と、前記加入者番号記憶手段に記憶されている所定の加入者番号とが一致するか否かを判定する照合手段と、この照合手段によって前記両者の加入者番号が一致すると判定された場合は、発呼側からの面情報を記憶する面情報記憶手段と、前記加入者番号記憶手段に記憶されている所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号を発信して前記面情報記憶手段に記憶されている面情報を送信する転送制御手段とを備えたことを特徴とする。

(作用)

本発明によれば、着信時に発呼側の加入者番号と所定の加入者番号が一致する場合は、発呼側からの面情報が面情報記憶手段に一旦記憶される。この後、所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号が発信され、面情報記憶手段に記憶されている面情報が送信される。したがって、発呼側からの面情報は当該ファクシミリ装置を中継して転送先に転送されたこととなる。

(実施例)

以下、本発明の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。

第1図は本発明に係る面情報転送方式を適用したファクシミリ装置の一実施例を示すブロック図である。この実施例ではISDN回線1に接続された制御部2と、受信した面情報に対応する面情報を記録紙に記録する記録部3と、送信される原稿を読取って面情報を形成する読取部4と、種々の情報を記憶するメモリ部5と、該ファクシミリ装置の動作を行うための操作部6と、該ファクシ

ミリ装置を制御する主制御部7とを備えて構成される。

ここで、このファクシミリ装置において所望の通信端末から受信した面情報を転送先に自動的に転送する場合は、操作部6を操作することにより所望の通信端末が有する所定の加入者番号を入力するとともに、受信した面情報の転送先である通信端末が有する加入者番号を入力する。これにより、操作部6からは所定の加入者番号および転送先の加入者番号を示すデータが出力され、このデータは主制御部7に加えられる。主制御部7は該データを入力すると、このデータによって示される所定の加入者番号および転送先の加入者番号をメモリ部5に記憶する。メモリ部5は第2図に示すように面情報領域51と、発呼側ID領域52と、転送先ID領域53とを有しており、前記所定の加入者番号および前記転送先の加入者番号が発呼側ID領域52および転送先ID領域53にそれぞれ記憶される。このとき、両者の加入者番号は各領域52、53の相互に対応するそれぞれ

のアドレスに記憶され、これにより対応関係を持たされる。なお、操作部6を操作することにより、所望する複数の通信端末の各加入者番号および複数の転送先の各加入者番号が発呼側ID領域52および転送先ID領域53にそれぞれ対応して記憶される。

さて、こうして所定の加入者番号に対応して転送先の加入者番号がメモリ部5に記憶されると、着信時に該ファクシミリ装置は第3図に示すフローチャートに従って動作する。

まず、ISDNに接続された他の通信端末(図示されないファクシミリ装置)によって第1図に示したファクシミリ装置に対する発呼が行われると、該他の通信端末から発呼番号がISDNに送出される。この発呼番号には該他の通信端末が有する加入者番号を示す情報が通常含まれており、該発呼番号はISDN回線1を介して着呼番号としてファクシミリ装置における制御部2で受信される。

制御部2は前記着呼番号を受信すると、この

端末から伝送されてきた面情報を受信し、記録部3で該面情報に対応する画像を記録紙に記録する(ステップ102)。

また、前記ステップ104で発呼側の加入者番号が発呼側ID領域52に記憶されている全ての加入者番号のうちのいずれかと一致する場合、主制御部7は着呼応答の制御を行い、これにより該他の通信端末から伝送されてきた面情報を制御部2を介してメモリ部5に入力する。メモリ部5は該面情報を面情報領域51に記憶する(ステップ105)。

こうして前記面情報がメモリ部5における面情報領域51に記憶され、このファクシミリ装置と該他の通信端末間の通信が終了すると、この後、主制御部7は該他の通信端末つまり発呼側の加入者番号と発呼側ID領域52に記憶されている所定の加入者番号とが一致したので、所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号をメモリ部5における転送先ID領域53から読出す。そして、主制御部7は発呼制御を行い、転送先ID領域

着呼番号を示すデータを主制御部7に伝送する。主制御部7は該データを入力すると、このデータに前記他の通信端末つまり発呼側の加入者番号が含まれているか否かを判定する(ステップ101)。そして、発呼側の加入者番号が含まれていないと判定された場合、主制御部7は着呼応答の制御を行い、これにより該他の通信端末から伝送されてきた面情報を制御部2を介して記録部3に入力する。記録部3は該面情報に対応する画像を記録紙に記録する(ステップ102)。

また、前記ステップ101で発呼側の加入者番号が含まれていると判定された場合、主制御部7はメモリ部5における発呼側ID領域52に予め記憶されている全ての加入者番号を読出し(ステップ103)、発呼側の加入者番号と発呼側ID領域52に記憶されている全ての加入者番号とを照合する(ステップ104)。ここで、発呼側の加入者番号が発呼側ID領域52に記憶されている全ての加入者番号のうちのいずれとも一致しない場合は、着呼に応答し、これにより該他の通信

53から読出した転送先の加入者番号を制御部2を通じてISDN回線1に発信する。このとき、該転送先の加入者番号を有する転送先の通信端末(図示されないファクシミリ装置)が応答すると、主制御部7はメモリ部5における面情報領域51に既に記憶されている面情報を読出し、この面情報を制御部2を介してISDN回線1に送出する(ステップ106)。これにより、この面情報は該転送先の通信端末で受信される。

このように本実施例では他の通信端末からの着信に際して、該他の通信端末つまり発呼側の加入者番号とメモリ部5に予め記憶されている所定の加入者番号とが一致した場合は、該他の通信端末からの面情報をメモリ部5に一旦記憶し、この後、所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号をメモリ部5から読出して発信し、メモリ部5に既に記憶されている面情報を転送先の通信端末に送信するようにしている。したがって、所望の通信端末からの面情報は、このファクシミリ装置を介して、転送先の通信端末に転送されたことと

なる。

なお、本実施例では着信時に発呼側の加入者番号と予め記憶されている所定の加入者番号とを照合するようにしているが、これに限定されるものでなく、着信時には発呼側の加入者番号とともにサブアドレスが伝送されてくることがあるので、所望の通信端末が有する所定の加入者番号およびサブアドレスを予め記憶しておき、着信時に発呼側の加入者番号およびサブアドレスと所定の加入者番号およびサブアドレスとをそれぞれ照合するようにしてもよい。この場合、発呼側の加入者番号およびサブアドレスと所定の加入者番号およびサブアドレスとがそれぞれ一致すると、発呼側からの面情報を一且記憶し、この後、所定の加入者番号およびサブアドレスに対応する予め定められた転送先の加入者番号を記憶して、前記面情報を転送するようにする。また、転送先の加入者番号だけでなく、転送先の加入者番号およびサブアドレスを予め記憶しておき、転送時には記憶されている転送先の加入者番号およびサブアドレスを宛

信するようにしてもよい。さらに又、所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号を複数設定してもよい。この場合、一旦記憶された面情報は複数の転送先の通信端末にそれぞれ転送されることになる。

#### 〔発明の効果〕

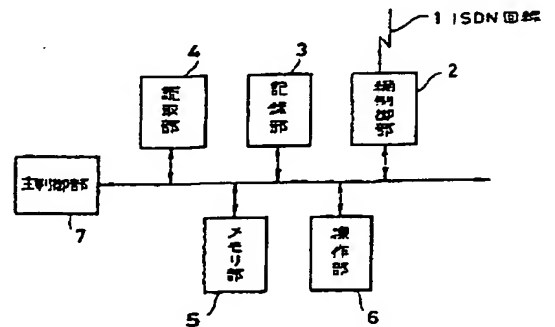
以上説明したように本発明によれば、着信時に発呼側の加入者番号と所定の加入者番号が一致する場合は、発呼側からの面情報を一旦記憶し、この後、所定の加入者番号に対応する転送先の加入者番号を記憶して、前記面情報を転送先に転送するようにしている。故に、所望の通信端末から伝送されてきた面情報を予め定められた転送先の通信端末に自動的に転送することが可能なファクシミリ装置の面情報転送方式を提供することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

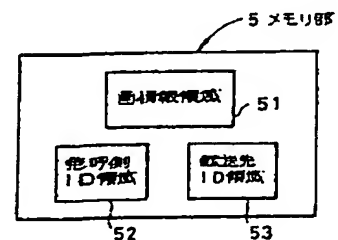
第1図は本発明の一実施例を適用したファクシミリ装置を示すブロック図、第2図は第1図に示した実施例におけるメモリ部の構成を示す図、

第3図は第1図に示した実施例における動作を説明するために用いられたフローチャートである。

1…ISDN回線、2…制御部、3…記録部、4…読取部、5…メモリ部、6…操作部、7…主制御部。



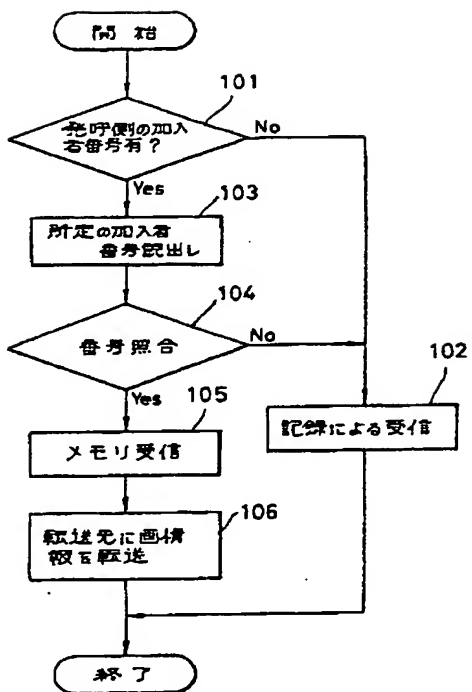
第1図



第2図

代理人弁理士 木村高久





第3図